

スコットランド国民投票 報告会を開催

住民投票は民主主義の学校と言われます。実施決定から2年。独立の是非を問う国民投票を通してスコットランド社会はどう変わったのでしょうか？世界の住民投票を追う若きジャーナリスト、大芝健太郎さん(緑の党サポーター)による現地報告会を11/9(日)14時から緑の党事務所で行います。



福祉の充実が災害への強さにつながる

8月20日未明から朝にかけて広島市安佐南区・安佐北区を襲った土砂災害。緑の党会員有志もボランティアに駆けつけ、実情を調査して市議、国会議員、マスコミなどに報告書にまとめて提出しました。交通機関などの復旧は9月上旬でかなり進みました。一方で、被災されたみなさまへのきめ細かな生活支援がますます重要になっています。充実した福祉社会を実現することが、災害への強さにつながることを痛感しました。(広島市 さとうしゅういち)



10/19は土と平和の祭典 暮らしの種まきエリアで出店&トーク

今年も「土と平和の祭典」に「グリーンマルシェ」を出店。手に取ることでできる「緑の想い」が詰まった美味しい楽しいものが全国の会員・サポーターから集まります。また、元共同代表高坂勝さんの司会で成田市議・会津素子さん、あきる野市議・中村則仁さん、郡山市議・滝田はるなさん、秩父市議・清野和彦さんを迎え、「地域から始める種まき」をテーマにトークイベントも企画しています。一緒に緑の種をまき、たくさんの人と繋がりましょう！ ●日時:10月19日(日)10時~16時 ●場所:お台場・潮風公園 太陽の広場/暮らしの種まきエリア ●問い合わせ:佐藤真(090-8479-9218)



沖縄からのメッセージ~海は語り 風は唄う~

緑の党会員発プロジェクト 「オルタナミーティング」vol.2 開催!

沖縄は今、11月の県知事選を目前に緊迫した状況が続いています。今回は八重山民謡の第一人者、大工哲弘さんとジントラムータの共演で、沖縄の豊かな自然と心を伝えます。 ●日時:10月6日(月) 開場:18:30 開演:19:30 ●会場:阿佐ヶ谷口フトA(03-5929-3445) ●出演:大工哲弘×ジントラムータ ●料金:前売¥3500 当日¥3800(別途1ドリンク¥500必要) 会員・サポーター特別チケットあり ●予約・問い合わせ:ohba@media-ave.com(大場) 【今後の予定】 ●11/15(土) 友川カズキ ●12/24(水) 山崎ハコ



緑の党 <http://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒166-0002
東京都杉並区高円寺北2-3-4 高円寺ビル601
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3223-0080

カンパにご協力を!

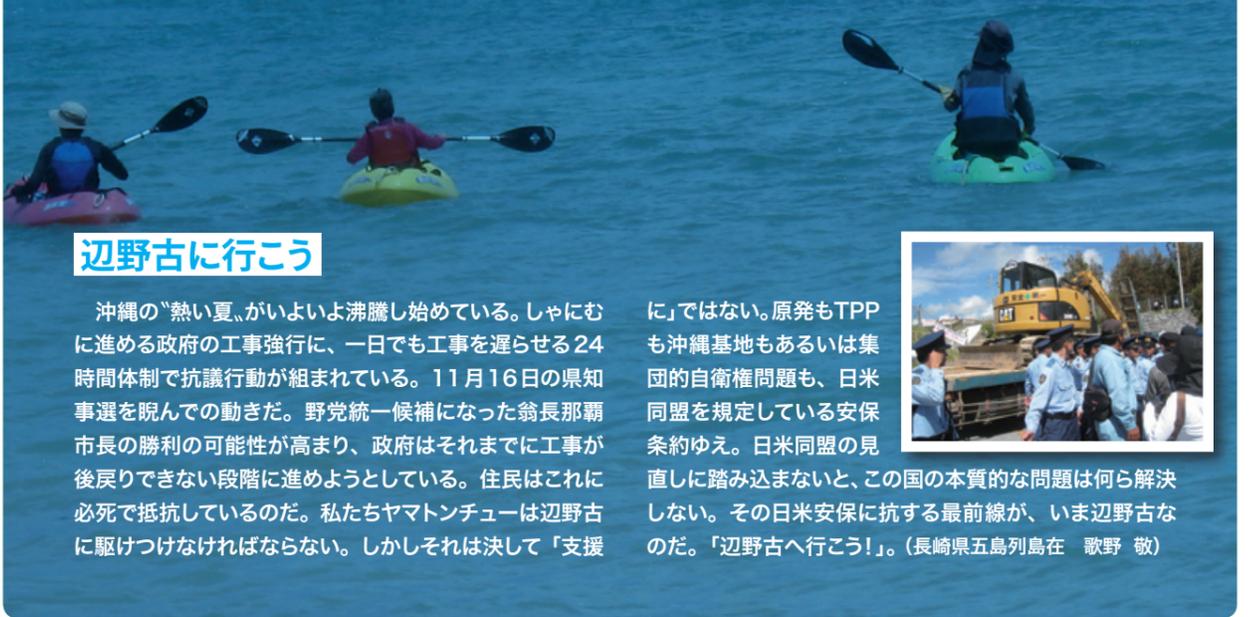
城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行

口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党

他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金

店名:〇一九(ゼロイチキュー) 口座番号:262967



辺野古に行こう

沖縄の「熱い夏、がいよいよ沸騰し始めている。しゃむに進める政府の工事強行に、一日でも工事を遅らせる24時間体制で抗議行動が組まれている。11月16日の県知事選を睨んでの動きだ。野党統一候補になった翁長那覇市長の勝利の可能性が高まり、政府はそれまでに工事が後戻りできない段階に進めようとしている。住民はこれに必死で抵抗しているのだ。私たちヤマトンチューは辺野古に駆けつけなければならない。しかしそれは決して「支援

に」ではない。原発もTPPも沖縄基地もあるいは集団的自衛権問題も、日米同盟を規定している安保条約ゆえ。日米同盟の見直しに踏み込まないと、この国の本質的な問題は何ら解決しない。その日米安保に抗する最前線が、いま辺野古なのだ。「辺野古へ行こう!」。(長崎県五島列島在 歌野 敬)



はじめるよ、「広報の民主化」「広報の自給」

みんなの広報スクール!

11/30 始動!

- | | | |
|-----|----------|---------------------------|
| 第1回 | 11/30 | 「広報」がわかると「活動」がわかる |
| 第2回 | 1/18 | ブランディングと2WAYコミュニケーション |
| 第3回 | 3/1 | 広報にこそNVC(共感的コミュニケーション)が必要 |
| 第4回 | 5/10 | スローガンとキャッチフレーズ |
| 第5回 | 6/27, 28 | 型とフリースタイル(「多様性」と「統一ルール」) |
| 第6回 | 8/22 | メディアの使い方 |

広報的なモノの見方やスキルを、大企業や政府だけのものからみんなのものに。緑の党の会員・サポーターのみなさんはもちろん、NPOや市民団体やスモールビジネスに関わる方を対象に、コミュニケーション力・企画力UPのための、実践的連続講座を開催します。

ファシリテーター:中園順子さん
大手広告代理店コピーライターの経験を活かし、個人も地球も持続可能な幸せを実現するための情報発信中。

いける! 挺好的!

台湾 緑の党は10名の候補者を擁立した!

台湾 緑の党組織部主任 陳婉娥 (翻訳:台湾緑の党会員 金曼頤)



台湾緑の党は今年、地方自治体選挙では、10名の緑の党の名前を掲げた立候補者を推薦しました。この10名の立候補者はLGBT運動、環境運動、カジノ反対運動や不当な土地収用の反対運動など市民運動に力を入れている活動家たちです。地方議会に入り、地方自治を改善する覚悟を持って、選挙に出ます。今年、緑の党は新たな立候補の推薦制度を作りました。5つの市民団体の推薦と選挙区得票率1%の市民署名という2つの条件があると、国民の意見を代理する政治代理人(立候補者)になれます。また、政治代理人は「政治代理人公約」を署名しなければいけません。2014年、緑の党は「挺好的(いける!)」というスローガンを作りました。立候補者たちが社会からの支持を得て地方議会にいけることを期待しています!

今年の台湾地方自治体選挙では、出自が以前の悪徳政治家と違った新たな立候補者が出てきました! 地方自治体選挙から、腐敗した政治文化を変えることを目指してがんばっていきます。

この夏まで日本に留学していた金曼頤さん。現在は台湾に戻り、高雄市民議選に挑戦する梁益誌さんの選対チームで活躍されているそうです。11/29投票の統一自治体選挙情勢について台湾緑の党のコメントを送っていただきました。

~飲み屋のオヤジの小さなつぶやき~ 土へ生業へ

実りの秋、収穫の秋。お米が豊作だし、美味しい。千葉県匝瑳市にある我が家の田んぼでは320㎡の広さで160kgのお米が穫れたのです。米を自給するようになって6年、収穫量が最多となりました。乾いた稲の根本を「ザク、ザク、ザク」と鎌で切り進む快感。頭を擡げると体を吹き抜ける風が潤んだ汗を冷やしてくれました。「ああ、気持ちいい!」と思わず吹き、小さな合津に遥か続く樹々の緑と稲穂の黄金色が悠久の時を感じ、ハッと息を呑む程です。そんな労働の夜はビールも美味しく、虫の音のハーモニーをバックミュージックに深い眠りに着けます。

NPO SOSA PROJECTの「MY田んぼ」に申し込み、4月から初めて田んぼに取り組んだ27人もたいがい豊作です。この田んぼで自給できることに自信をつけた何十人もが、北は北海道、南は西表島へと都心から散って行きました。移住した地域で活躍している彼らの姿をマスコミで見かけた時、ときおり届く便りから、暮らして生業の底から嬉しさが込み上げてきます。かつて街で時間に追われた人たちは地方で時間を取り戻し、幸せを取り戻し、たいがい未来への社会的アクションを始めるようです。

高坂 勝

東京池袋にOrganic Barを独り営み、人々を生業/自給/地方移住などのダウンシフトにそそのかし続けて10年。犠牲者が後を絶たない。自給自立がテーマのNPO SOSA PROJECT 創設。緑の党初代共同代表。著書『減速して自由に生きる ダウンシフターズ』





GO GREEN 緑でいこう

GREENSJAPAN SNAP



6月の杉並区議補選で善戦した川野たかあき。来年に向けて準備中。



新潟県胎内市議選。佐藤ひろしは今年の選挙スクール卒業生当選第1号。



兵庫県高砂市議選。緑の党公認候補として当選した井奥まさき。

CONTENTS

- P1 あなたの選挙がやってくる 地方から政治を変える!
- P2 地方議会選挙報告 ほか
- P3 インタビュー 前広島市長・秋葉忠利さん ほか
- P4 会員からの報告 ほか

住んでいる町や村を、もっと良く知るチャンス

自治体の選挙は、候補者だけでなく、市民ひとりひとりが自分自身で暮らす町や村の、これまで知らなかった面を知るチャンスでもあります。例えば日本はOECD加盟国（いわゆる先進国）の中で最も女性議員の少ない国だということを、ご存知でしたか？ 現在、女性の国会議員は約10%、2012年の時点で、都道府県議会議員8・7%、市町村議会では13・4%（※1）と、とても「国民」の半数を占める女性の声が代弁されているとは言えないのが現状です。

地方自治は政治の中核そのもの

ドイツ連邦のヴァイツゼッカー第6代大統領は、繰り返しこう演説しました。自治体の政治こそ国の中核を形作るものであり、私たちの日々の生活そのものです。しかし残念ながら、日本の政治は国も地方自治体も、住民が充分に参加できる制度になっていないのが現状です。だからこそ緑の党は、自立した市民ひとりひとりが自分たちの暮らす地域の政治に関心を持ち、責任を持って関わるといふ、「参加型民主主義」を追求しているのです。

2015年、緑の党の議員を120名に倍増させます

2015年4月、私たちのこれらの暮らしを左右する、統一自治体選挙が行われます。自民党・安倍政権が原発の再稼働、集団的自衛権の行使容認に突き進むなか、自治体でも私たちの暮らしを脅かすような決定が行われようとしています。緑の党は、暮らしをより安心して豊かにするため、そして政治をより市民に開かれたものにするため、立候補を呼びかけています。目標は、現在の60名から、120名に自治体議員を倍増することです。さあ、あなたも市民の代表として、選挙にチャレンジしてみませんか？

2015年4月

あなたの選挙がやってくる 地方から政治を変える!



税金はちゃんと使われている？
全国1718自治体への調査活動開始!

緑の党では、来年4月の統一自治体選挙に向けて、会員や市民と一緒に全国1718の全基礎自治体における、女性議員の割合や兵庫県議会に端を発し現在全国で発覚している議員の政務活動費の問題などについて、調査を開始します。あなたの町の議員は、政務活動費を正しく使っているのでしょうか？ チェックする体制は確立しているのでしょうか？ 議会には、私たちの税金で運営されています。みんなで調査に参加することで、自治体にどんな問題があるのか、何が必要なのか、そしてどんな議員が必要か、しっかりチェックしましょう!

自治体議員がひとりいれば、こんなに町が、村が変わる!

緑の党に参加する自治体議員は、自分たちの町や村をより民主的に、より人や環境に優しい地域にしたいと立ち上がった市民です。市民の意見が政治に反映できるよう、住民投票制度、自治体の予算策定に住民が参加できる制度、重要な政策を議論する審議会の民主化・透明化などを訴え、実現してきました。例えば東京都小金井市の常設型住民投票制度の設置などが実現しています。たとえひとりでも緑の議員が議会に参加することで、大きな変化をもたらすことができるのです。

統一自治体選挙は、あなた自身の選挙です。選挙に参加し、一緒に地方から日本の政治を変えて行きましょう。

緑の党グリーンズジャパン 共同代表・選挙本部長
長谷川 羽衣子



※1 内閣府「都道府県別全国女性の参画マップ」<http://www.gender.go.jp/policy/mieruka/government.html>

草の根民主主義 底辺民主主義 参加型民主主義

政治が生活と深く結びついたものであるための、市民としての役割を果たすこと。政治を足元から積み上げていくために、緑の党は顔の見える地域単位での活動の充実につとめています。

<p>宮城</p> <p>宮城県本部 設立準備中</p>	<p>新潟</p> <p>新潟県本部 設立準備中</p>	<p>北陸</p> <p>北陸本部 (石川・福井・富山) 設立準備中</p>	<p>長野</p> <p>信州本部 10月に設立予定</p>	<p>東京</p> <p>東京都本部 4月13日設立</p>	<p>千葉</p> <p>千葉県本部 9月に設立予定</p>	<p>埼玉</p> <p>埼玉県本部 設立準備中</p>	<p>神奈川</p> <p>神奈川県本部 10月に設立予定</p>
<p>山梨</p> <p>山梨県本部 設立準備中</p>	<p>東海</p> <p>東海本部 (岐阜・愛知・三重) 6月1日設立</p>	<p>静岡</p> <p>静岡県本部 設立準備中</p>	<p>大阪</p> <p>大阪府本部 4月6日設立</p>	<p>京都</p> <p>京都府本部 4月27日設立</p>	<p>兵庫</p> <p>兵庫県本部 3月29日設立</p>	<p>福岡</p> <p>福岡県本部 設立準備中</p>	<p>大分</p> <p>大分県本部 設立準備中</p>



エコロジカルな知恵



社会的公正・正義



参加民主主義



非暴力・平和



持続可能性



多様性の尊重

緑の党 グリーンズジャパン <http://greens.gr.jp>

グローバルグリーンズ憲章の6つの政治理念に基づき「緑の社会ビジョン」の実現をめざします。国政に緑の議席を!

各地の選挙

当選	9/7	兵庫県高砂市議選	公認	井奥まさき	元職
当選	9/21	新潟県胎内市議選	推薦	佐藤ひろし	新人
	11/16	千葉県松戸市議選	推薦	増田かおる	新人
	11/16	鳥取県鳥取市議選	推薦	井上さとる	新人
	11/16	兵庫県尼崎市長選	支持	稲村 和美	現職
	12/15	茨城県議選	推薦	野口おさむ	新人



佐藤ひろし



井奥まさき



野口おさむ



稲村和美



増田かおる



井上さとる

みどりの選挙 & 政治スクール卒業生 それぞれの挑戦!

大好きになった東村山!

東京都東村山市議選 関根 ひろし 会社員・「福島の子どもたち保護プロジェクトin東村山」事務局理事

このまちが大好きになった。いろいろな市民活動を楽しめる熱いまち東村山!
 去年の三宅洋平氏の選挙フェスに感動してグリーンズのサポーターとなり、今年の選挙スクールを受講して会員になった。計10回(ブレ含む)のカリキュラムは濃厚かつ刺激的で沢山の勇気をもたらした。
 現職の圧倒的有利のなかで無名の新人が勝つのは相当ハードルが高い。しかし、いつだって状況を切り開くのは自らの意志である。体力あつての闘いなのでジョギングも始めた。信頼出来る仲間を作ろう。批判や妨害さえ楽しむくらいの余裕を持とう。住んでるまちを愛しているのは当たり前で、問われているのは「まちに愛されているか?」なのだ。全国のみどりの戦士たちよ、春には皆で共に笑おうではないか。



20代は怒濤の季節。日雇い労働をしながら水俣、奄美、沖縄を旅していた。やがて子どもが出来て会社員となり、東村山に定住した。保育園や学校関係で地域社会と初めて付き合った。14年前に父子家庭となり、現在、大学生・高校生の3人を子育て中。近所の親友たちや保育士や先生にだけ助けられたことか。ほくはこのまちが大好きになった。いろいろな市民活動を楽しめる熱いまち東村山!

母親の願いを受け止めてくれる議員を

千葉県松戸市議選 増田 かおる 放射能から子どもたちを守ろう関東ネット 前代表

私に何が出来るのか不安もありますが、私にしか出来ない役割があるだろうと信じて、ある意味では気負わないで歩んでいます。そして、一生のうちで、こんなに人と会って繋がることのでき、自分も成長できる時期が与えられたこと、心から感謝しています!
 でも、女性の立候補は現実的に大変です。まず、何と言っても夫の理解!!そして、親と子ども。何とか理解を得て、同居の姑に夕飯はお願ひしました。掃除は捨てました(笑)!!
 議員さん達に私たちの思いを訴えました。でも、母親たちの願いを真剣に受け止めてくれた議員さんはほんの一部でした。これは、女性議員、とりわけ、子育てをしている、現役の母親世代の議員が極端に少ないのではないかと感じました。



松戸市の増田かおるです。現在、17歳と12歳の子どもを育てています。私はこの11月の市議会議員選挙に、母親の立場で挑戦します。
 始まりは、松戸市が3年前放射能の汚染ホットスポットになったことです。当初は松戸市や教育委員会に対策を求め、そして、議員さん達に私たちの思いを訴えました。でも、母親たちの願いを真剣に受け止めてくれた議員さんはほんの一部でした。これは、女性議員、とりわけ、子育てをしている、現役の母親世代の議員が極端に少ないのではないかと感じました。

誰も原発反対と言わない福井市

福井県福井市議選 木下 けんいちろう 大阪原発差止め訴訟原告団事務局 元自衛官

落選した後、僕は除染で福島入ります。福井県若狭の原発で同等の事故があったとき、地域で何が起るか、一年に渡ってつぶさに見聞することができました。現在も進行中の生々しい現実、僕の深いところに根を下ろしました。
 前回僕は土壇場に立候補して悔しい思いをしました。告示が目前に迫ってから悩んでも遅いのです。決断しても苦勞は多いです。当選するかは分かりません。それでも立候補を決意したなら、一緒にがんばりましょう。



僕が挑戦したいと決意したのは、2012年12月。県議会補欠選挙のときでした。当時は今よりも県民の脱原発熱は強かったはずですが、それでも各陣営は原発を政策に掲げようとせず、公示直前、僕は立候補を表明しました。
 僕が挑みたいと決意したのは、2012年12月。県議会補欠選挙のときでした。当時は今よりも県民の脱原発熱は強かったはずですが、それでも各陣営は原発を政策に掲げようとせず、公示直前、僕は立候補を表明しました。

私の悲しみを無駄にしないために

千葉県白井市議選 小田川 あつこ 障害者支援の会「積み木」前会長

立候補を考えるきっかけは、活動の賛同者でもある市議さんの推薦です。立候補に値する要素が私にあるのか、その見極めになればと思いい選挙スクールに申込みました。スクールには様々な社会生活を送っている人々が集まっています。参加者相互の意見交換は貴重な経験となりました。講義資料は初心者にもわかりやすくまとめられており、現職市議の体験談や実践的な講習を体験するにつれ「実際に選挙をやってみよう」と、気持ちが前に動き出しました。そして、今、私は選挙に向けてスタッフを召集し、行動でも一歩前進しました。協力を快諾してくれた友人達への感謝の思いを忘れずに精進し、選挙活動を楽しみながら乗り切りたいと思います。



私は3人の子供を育てながらパートで働く、ごく一般的な主婦です。長女が世界で報告例が20人弱の染色体異常で、当時6才以降の生存報告例がなかったことをきっかけに、福祉や市政に興味をもつようになりました。障害のある子を育てる過程は苦勞の連続で、「私が経験したこの苦勞は、後に続く誰かと同じ経験するかもしれない。誰かが困った時に私の経験が話せるネットワークを作りたい。」という思いが湧き上がり、私の活動の原点となっています。

受講生募集中

2015年4月の統一地方選挙に立候補しよう

まだ間に合う! 選挙スクール・ファイナル @東京

11/1(土) 午後1時~6時:選挙の基礎知識・魅力的な候補者とは・有権者に訴える7つの方法
 11/2(日) 午前10時~午後1時:表現力が当落を決める・戦略を立てる
 受講料 5,000円(選挙マニュアル2冊付き)

「選挙スクール・福岡出張講座」11/15 開催予定

※いずれも詳細は緑の党webサイトか担当・宮部(090-1548-5929)まで

自治体レベルでの政策課題を整理!

ローカルマニフェスト作成中



緑の党政策チームではローカルマニフェスト(地方自治体選挙政策公約集:全国標準版)を作成、第一次案を8月9-10日に行われた政策フォーラムで発表しました。市民がつくるローカルマニフェストとして、9月12日まで組織内外に呼びかけて意見を広く募集、10月1日の公開に向けて準備を進めています。また各地域では、この標準版をもとに勉強会を開いたり、独自版の策定について話しあいが持たれています。



INTERVIEW

前広島市長 秋葉 忠利さん

東京大学理学部出身。マサチューセッツ工科大学でPh.D.を取得後、ニューヨーク州立大学等で教鞭をとる。1990年から衆議院議員を務めた後、1999年に広島市長就任、平和市長会議（現・平和首長会議）会長を務め、核兵器廃絶の国際世論を喚起。2010年、アジアのノーベル賞といわれる「マグサイサイ賞」を受賞。その後2014年まで広島大学特任教授

市民の意思で動かす政治

秋葉さんはいつも、国家と都市・自治体とを対置してお話しされます。国家と都市との最も違う点はなんなのでしょう？

かつての封建制度のもとでは、しよつちゅう小国間で戦争が行われていました。それがまとめられて一つの国家になって、それは歴史的にはメリットがあったと考えるのもいいのですが、一度国家ができてしまうと結局、権力のトップに位置する人たちが機関が、自らの価値観によって全てを支配するようになりま

す。中央集権で、トップダウン。しかも、その基本的な価値観とは、つまり、組織を律する基本的な枠組みは、「支配」と「被支配」の関係なのです。

——小国同士での戦争はなくならないのに、国全体が中央の価値観で画一的に支配されてしまう……。

歴史的な背景に縛られて、国家をその文脈でのみ定義し理解する代わりに、未来の国家をゼロ・ベースで定義しようとすると、都市がそのモデルになります。都市、つまり基礎自治体が大変なのは、政治的存在としての地方政府が、住民や市民と直接触れ合うことができるからです。こみの問題を例に挙げると、こみがあるかないかという事実に基づいて議論ができる。現在の国家には

失われたと言っても良い、市民の意思を反映できる政治形態です。

上からの支配によって動くという構造を本来の姿に戻して政治全体を変えていくという意味で、基礎自治体にもっと注目して、都市・自治体を出発点としてとらえ、そこから中心とした新しいエネルギーを生んでいくことができれば素晴らしいと思います。

子どもたちが持っている自然な世界観

——まず国家があつて、そこから降りてくる思考パターンで政治を進めるのではなく、まず人がいて、そこに都市があつてというところから出発する考え方のほうが自然だし、市民にとっては当然メリットは大きいですね。

人間が生まれて、お父さんお母さんや兄弟がいて、地域があつて、その中で生活をしながらだんだん視野が広がっていく中で、国という存在もある。人工的に「愛国心」教育で植えつけられた「国」ではなく、もつと自然な形で、自分たちの存在が広がったエクステンションとしての国。子どもたちが持っている自然な世界観というのは、そういうものではないでしょうか。そうした自然な「社会」や「世界」ができるように、未来をデザインしていくべきだと思います。

都市からデザインする平和と繁栄

一番自然な本来の姿は、平和の中の繁栄

——そうした自然な社会や世界のデザインを考えるうえで、秋葉さんが、本や講演の中で挙げられている「ボヘミアン・インテックス」や「ゲイ・レスビアン・インテックス」は興味深いです。活力を持った都市には多様性がある、とトロント大学のリチャード・フロリダが調べたのは、世界の経済を動かしている原動力は何かということでした。彼の結論は、それは都市であり都市連合だったのです。ただすべての都市が同じように元気があるわけではなく、北米で言えばシリコンバレー、つまりサンフランシスコ、オースチンやボストンなどの都市は経済的にもとても元気です。

少数派の権利をどのように担保するのかということが長い間の伝統だったサンフランシスコの隣のシリコンバレー。それからボストンのあるマサチューセッツ州は、同性同士の結婚を法的に認めた初めての州です。またテキサス州はプッシュの出身地で超保守的ですが、州都のオースティンは大学の街でリベラルなのですが、テキサス大学の学生たちがデル・コンピュータを始め、若い人たちがどつと入って来てよりリベラルな街になりました。

ボヘミアン・インテックス（※芸術家が社会で受け入れられているかどうかの指標）、ゲイ・レスビアン・インテックスといった指標が示しているのは「寛容さ」で、寛容さが経済的な活力の源泉だというのがフロリダ教授の発見です。そして寛容さというのは、実は平和そのものなんです。それを言ったのは、ケネディ大統領でした。世界が平和になるためには、互いに寛容であればいい、と。そこに兵器産業や、人が殺し合うという要素を持つてくるというのがそもそも間違いなんです。経済的にもマイナスになります。一番自然な本来の姿は、平和な形の中の経済。



女性を中心とした Visitors Industry

——秋葉さんが広島市長時代、寛容さや多様さということを含めて取り組んだテーマがあれば、お聞かせください？

一つ、観光(Visitors Industry)はすごく大事で、広義の観光政策を広げました。少子化・人口減少は進んでいるけど、夜の人口は減っても昼間の人口が増えれば、それだけで普通の意味での経済活動はちゃんと成り立ちます。だから、昼間に広島を訪れる人の数を増やしましょうということ、Visitors Industry。ビジネス、学校、買い物などでも来るのもVisitorsですね。「四季」が公演しているから見に行こう、とか、サンフレッチェがあるから、カーブがあるから……。そういうVisitorsを増やす上で大事なのは、そして、特に日本社会での「多様化」の第一歩は女性です。ですから、女性の助役を登用して、彼女を中心にして女性の力によるVisitorsの拡充を図ろうとしました。でも、結局、市議会が承認せず、残念ながら「理事」という形で来てもらうことになりました。

それから、直接民主制に近づけるために住民投票制度も作りましたが、その一環として、投票できるのは、国籍に関係なく18歳以上のすべての市民にしました。少しずつではあるけれども、多様性を担保するために。

女性や高齢者のビジネス支援や、インターネットを使つてのビジネスを振興など、これまでのビジネスとは違つたプレーヤーが活躍できる環境を提供することも大切だと思つました。その中で二つ時代の先取りになるかも知れないと考えるのは、コスプレの支援です。今かなり広がっていますが、まだこれから面白くなりそうです。フロリダ教授の研究・調査の中で、初期に重要だった指標が「女性インテックス」なのですが、アメリカではどの都市も力を入れてきたため、もはや都市間の差がなくなつてしまつています。しかし、日本では「寛容さ」の指標として社会における女性の位置付けは大切だと思つています。その意味では、女性を登用して、女性中心のVisitors Industry戦略を実行することは一番合理的な選択でした。

都市・自治体が連携して世界の重要な決定をしていく時代へ

——お話を伺っていると、都市・自治体の課題や可能性が広がつて見えてきます。

本当に意味のある仕事をしようと思つたら、やはり基礎自治体。もつともつとたくさんの方が基礎自治体を基盤にして、自分たちの言葉で発言をしていくというのがすごく大事。それから現在の制度の枠だけに囚われて考えるのはやめたほうがいい。都市同士が国際的に連携する、あるいは国連と直接つながるような形で、新しい問題提起をどんどんしていくという時代になつてきているんです。

——世界160か国の6000都市が加盟する「平和首長会議」などは、まさにその典型ですよね。

そういう努力を、もつともつとしたいと思う。現実のしがらみから思考を解き放つための「思考実験」として例えば今の国連総会を上院としてもう一つ下院を作る。その下院は、世界の都市の代表が構成することを考えたら面白いと思つています。上院は国の代表、下院は都市の代表という形で、世界の重要な決定をしていく。そういう姿を作つていくことを頭に置いて、どういふ活動をしたらいいかと考えていくと、いろいろな可能性が見えてきます。それを実現するために何が必要かというのを考えつ、都市自体の構想をちゃんと作つていったらいいんじゃないかと思つています。

国の「枠組み」を突破して構想し、動いていくことですね。

——国の「枠組み」を突破して構想し、動いていくことですね。既成の概念や制度を変えようとする、必ずそれを押し潰そうとする力が働きます。それに対抗する一つの方法は数です。一つや二つの都市の段階ではまだ力がなくても、たくさん都市が動けば、国がいじめをしようと思つてもできなくなります。そのためには、たくさん都市に呼びかけて、一緒に行動することが大切になります。

市民感覚を持つ人が議会に入れば議会は変わる！

号泣県議が議会改革の引き金を引く！

今年7月に野々村元兵庫県議が、1年間で城崎温泉などに195回訪れ、3年間で約280万円分の大量の切手を購入していたことが明らかになりましたが、それらが虚偽であった可能性が指摘されています。新聞報道がされてから、元議員がすぐに会見を開いたのですが、十分な説明をせず号泣したことで、この問題は一気に全世界に伝わりました。議会は元県議の疑惑を十分調べることなく元県議に辞職勧告し、虚偽公文書偽造等で刑事告発しました。誰が見ても、早期の幕引きを図つたときに見える。その後、疑問のある政務活動費の支出が、野々村元県議だけではなかったことが明らかになっています。

この間、私は野々村元県議の支出内容を調べ、切手購入の名目で、ギフトカードなどの金券を買つていた可能性が高いことや他の議員による切手大量購入等の事実を明らかにしてきました。そして政務活動費については、県議会HPでの収支報告書、会計帳簿の公開、出張報告書の提出義務付けなどの提案も行い、その多くは実現する方向です。支出基準の見直しに手をつけられていないなどの課題はありますが、現時点で兵庫県議会の改革は全国都道府県議会の中でトップに立つことになりました。

議会改革は1人から始められます！

いきなり大きな議会や行政の制度改革を行うことは難しいでしょうが、普通の市民感覚を持つ人が1人議会に入れば、議会は間違いなく動いていきます。

その取り組みのひとつは、内部の情報をドンドン外部に発信することです。あまり難しく考えず、議員を先生と呼ぶのはなぜ？というように最初にその問題に遭遇した時におかしいなと思つたことを、通信やFB、ツイッターなどで市民にどんな情報を伝えていくことが大切なのだと思います。

また、課題解決を目指す市民活動と連携していくことが大切です。議会の中で孤軍奮闘しても、制度はなかなか変わりません。情報公開制度などを活用し、様々な課題や問題点を明らかにし、市民との情報共有することが大切です。今回の野々村事件のように、タイミングを上手に掴めば、制度を大きく改善することが出来ます。そのタイミングを見逃さず問題提起するためにも、良識ある議員が1人議会に存在することが必要です。

兵庫県議会議員 丸尾 牧

